

やわらぎ会通信 Vol.40

今年の十五夜のお月見は28日です。(通信が届いていけばよいのですが...)
昔から人は月を愛でる風習があったようです。十五夜を過ぎると十六夜(イザヨイ)=ためらうよう
に出てくる⇒十七夜(立待月・タチマチヅキ)立ったまま待つ⇒十八夜(居待月・イマチヅキ)すわ
って待つ⇒十九夜(寝待月・ネマチヅキ)月の出る時刻が遅いので寝て待つ...
というふうに、月の出るのを待っていたのですね。しかもだんだんと欠けていく月の姿を
どんな気持ちで見っていたのでしょうか。

この時期は台風がよく来るので見られないことも多いのですが、今年、まん丸お月様
見れるといいですね。



よく噛める入れ歯について

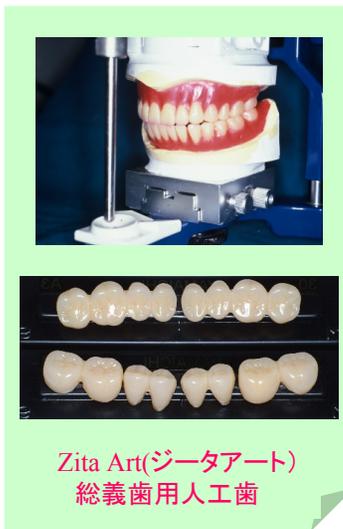
夏のオリンピックは終わりましたが、現在のアテネではパラリンピックが行われ
ています。新聞では毎日、日本選手の活躍が報じられていますが、その中に義
足の走り幅跳びの選手の記事が載っていました。

02年4月に病気で右足のひざから下を切断。落ち込む
日が続いたが「そんな自分が嫌で、抜け出すにはスポー
ツしかない」と義足の技師の先生に誘われて、陸上を始
めたそうです。初めは百メートルも走れなかったが03年
には走り幅跳びで3m跳べるようになり、今回のパラリ
ンピックでは3m95cmを跳び9位に入り、「アテネの風は気
持ちよかったです」と満足そうな笑顔が広がったそうです。

この度私達が新たに開発した総義歯用の人工歯(入れ
歯の臼歯の部分)≡“ジータアート”の特許が認められま
した。このジータアートを使えば、もし入れ歯のオリンピ
ックがあるとすれば金メダル間違いなしです。当診療所にも
、様々な原因で歯を失ってうまく物を食べられなくなった患
者様が来られます。どんな患者様でも何でもよく噛め、美
味しく食事をする事ができ、満足していただけるような入
れ歯が作れるよう、日々技術革新に努力しています。この
たびの特許はその努力が認められた思いです。

さらに良いサービスができるよう努力して参りますので
これからもよろしくお祈りします。

藤田 和也



耳より
コーナー



10月から、新しく中沖先生がスタッフに
加わります。
中沖先生について、簡単ですが紹介します。

名 前 中沖 泰三 (ナカオキ タイゾウ)
生年月日 S44年11月25日 (34歳)
出身校 大阪大学歯学部卒業 (H8年卒)
趣 味 野球



先生からヒトコト

はやく、顔を覚えてもらえるよう頑張ります。



今年の台風はすごかったですね。
今までニュースで見たことのない光景を実際に
自分の眼で見ることになりました。
瓦が風に吹き飛ばされるところ、カーポートの屋根のプラスチックの
板がバリバリとはがれ、まるで紙のようにひらひら舞飛んで行
く様などを、恐さ半分、興味半分といった感じで自宅の窓
から眺めていました。

そうこうしているうちに停電したので、懐中電灯を探し
断水に備えて水を溜め、一晩くらいは過ごせる程度の備
えをし、本でも読もうかと思ったのですが、部屋が薄暗
く読書も進まず、結局ボーっとしているといつのか
眠っていました。

水やガスは大丈夫だったので食事はできたのですが、本当に必要
最低限のことしかできませんでした。台風の恐ろしさを知ると
に、日頃どれだけ電気に頼っているのかを実感した日でもあり
ました。



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成16年8月
にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。
また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メール
でどうぞ。 メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成16年 9月20日号
編集発行人 藤田 和也
編集者 山下 剛史